



令和5年度

埼玉ロボネット会員対象

参加無料

埼玉ロボネット分野別研究会

第1回未参加の方の参加も大歓迎!

物流編 第2回

埼玉県は、圏央鶴ヶ島IC周辺に「社会的課題解決に資するロボット」の開発を支援する「SAITAMAロボティクスセンター(仮称)」を令和8年度開所に向けて整備しています。

ロボティクスセンターの開所に先駆け、7月に設立した「埼玉県ロボティクスネットワーク(略称:埼玉ロボネット)」会員を対象とし、物流分野のロボット開発や社会実装を支援する研究会を開催します。

本研究会では、物流ロボットに関する先進事例発表や課題・今後の展開をテーマとしたワークショップを実施するほか、プロジェクトの創出を見据えたマッチング支援も実施します。



埼玉ロボネット分野別研究会 (物流編)について

「埼玉ロボネット」とは SAITAMAロボティクスセンター(仮称)の開所に先駆け、ロボット開発に関わる多様な主体が協働してロボット開発や社会実装を促進するために埼玉県が設立した組織です。

第2回研究会
(1月19日開催)
事例紹介

ワークショップでの
事例発表者との取り組み
掘下げ・意見交換

名刺交換
・
交流会

ファシリテータによる
フォローアップ及び
マッチング支援

プロジェクト創出及び併走支援

埼玉ロボネット分野別研究会物流編 基調講演・事例紹介

トヨタ自動車東日本株式会社
プロジェクトF ロボット・AI開発室 室長



山根 五月 氏

【略歴】
東京オリンピック・パラリンピックにおける投擲サポート
ロボット開発を切っ掛けに、自社工場の物流や地域のモ
ビリティ課題解決に向け、自律走行ロボットの活用事業
を主導。

TIS株式会社
デジタル社会サービス企画ユニット
ジェネラルマネージャー
油谷 実紀 氏

芝浦工業大学 システム理工学部
機械制御システム学科 教授
長谷川 浩志 氏

開催形式

集合開催と動画オンデマンド配信
※講演動画を令和6年1月26日から
2月9日までオンデマンド配信します。

会場

新都心ビジネス交流プラザ4階会議室
(さいたま市中央区上落合2-3-2)
JR北与野駅前
JRさいたま新都心駅 徒歩8分

対象

埼玉ロボネットに入会済みのロボット開発
関連企業、物流関係事業者等

申込

以下URLまたは右のQRコードから
埼玉県ホームページにアクセスいただき、
申込フォームに移動してお申込みください。
※埼玉ロボネットに未入会の方は入会登録をお願いします。
入会方法は申込フォーム内でご確認ください。
[https://www.pref.saitama.lg.jp/robotics/
seminar/info/robonet-k_20240119.html](https://www.pref.saitama.lg.jp/robotics/seminar/info/robonet-k_20240119.html)

定員

会場参加50名



QRコードは特デンソーウェブの登録商標です。



埼玉ロボット分野別研究会

物流編 第2回

タイムテーブル

13:00
～
13:30

基調講演

物流・搬送領域におけるサービスロボットに関する政府・民間の現状と展望



人口減少社会をにらみ物流・搬送領域におけるサービスロボットの活用が喫緊の課題となっており、政府や民間、また官民連携の活動が活発化しています。こうした取組みの現状と今後の産業活性化の条件について触れ、自動配送ロボットに関する、ロボットデリバリー協会や中山間地域での具体的な取組みについてもご紹介します。



TIS株式会社
デジタル社会サービス企画
ユニット
ジェネラルマネージャー

油谷 実紀 氏

13:30
～
14:00

事例 1

社会課題解決のための価値創生：ロボットやモビリティを活用した物流・移動の効率化



ロボットやモビリティ等を活用した効率的な物流配送システムや効率的な移動とサービス創生についてご紹介します。デジタル地図の開発プラットフォームを用いた運行管理システムの開発に関心のある企業、モビリティの試作開発にあたり、金属加工や車両などに造詣のある企業の参加を希望します。



芝浦工業大学
システム理工学部
機械制御システム学科
教授

長谷川 浩志 氏

14:10
～
14:50

事例 2

人にやさしい社会の実現を目指して進める自律走行ロボット開発について



コンパクト車の開発から生産を行う当社が、
①世界的な大会で使用される自律走行ロボットの開発に、ものづくりの現場で培った技術を拠り所にして取り組み、
②そのチャレンジによって確立した技術を発展させて、工場の物流改善や作業者の負担軽減によるものづくりの競争力向上を図り、
③さらに、配送ロボットによりモビリティ課題の解決を目指して地域貢献に取り組んでいる事例を紹介します。
ロボット開発・活用に向けて車体製作や部品製造などに協力いただける企業の参加を希望します。



トヨタ自動車東日本株式会社
プロジェクトF
ロボット・AI開発室
室長

山根 五月 氏

15:00
～
16:00

ワークショップ

本日紹介のビジネス・事例への関わりの可能性検討

ワークショップでは、参加者の皆様にグループに分かれていただき、ファシリテータの進行のもと、発表内容に関連するプロジェクト創出について検討頂きます。今後のフォローアップも行いますので、積極的にご参加ください。

ワークショップでは、自社の技術を様式1枚にまとめた「ロボット関連技術PRカード」で自己紹介をしていただき、情報交換、ビジネス検討を行っていただきます。今後のビジネスマッチングにも使用しますので、可能な限り事前に作成をお願いします。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/robotics/database/prcard.html>



公益財団法人埼玉県産業振興公社、NPO法人ロボットビジネス支援機構のコーディネーターが、ファシリテートを実施します。

16:00
～
16:30

名刺交換会・交流会



埼玉県マスコット
『コバトン&さいたまっち』



はオンデマンド配信対象のプログラムです。